



九大病院だより

九州大学病院 広報委員会発行

■小児の膀胱尿管逆流症

——内視鏡手術が保険適用であることをご存じですか？

従来、抗生剤投与や開腹手術で治療していた、小児特有の「膀胱尿管逆流症」に対して、内視鏡手術が平成22年10月以降、保険適用となっています。

膀胱尿管逆流症とは？

通常、腎臓でこされた尿は尿管を通して膀胱へと流れていきます。多くの場合、尿管は膀胱の壁に斜めに角度をつけてつながっていますが、膀胱尿管逆流症の患者さんの場合、尿管と膀胱壁が垂直に近い角度でつながっているため、排尿時に膀胱内に圧力が高まって尿管が閉じにくく、膀胱に尿がたまるたびに尿管へと逆流してしまいます。



1 膀胱尿管逆流症で腎炎を発症した小児のレントゲン写真。膀胱(下中央の白く丸い部分)から腎臓(左上)に尿が逆流している(矢印右)



2 内視鏡手術後。尿の逆流が消失している

膀胱尿管逆流症は決して珍しい疾患ではなく、小児100人中1-2人前後に認められ、膀胱尿管逆流症の患者さんの0-1歳児の70パーセント、4歳児の25パーセントが、膀胱尿管逆流症が原因で尿路感染を発症しています。

従来の治療法の利点と負担

軽度の膀胱尿管逆流症の場合、抗生剤投与で尿路感染の症状は治まりますが、完治ではなく再発のリスクがあり、尿路感染は再発を繰り返すと腎臓を傷つけ、腎機能低下となり、慢性腎不全に陥る恐れもあります。

また開腹手術の場合は、一回の手術でほぼ完治しますが、へそ下に切開の跡が残り、約3週間の入院も必要で、患者さんにも付き添う保護者にも負担は大きなものでした。

新しい選択肢、内視鏡手術

内視鏡手術の場合は膀胱内に内視鏡を入れ、尿管との接合部にヒアルロン酸などの化合物を注入して、弁の役割を果たし逆流をせき止める「こぶ」を作ります。手術痕は残らず3日前後で退院できることも可能です。一回で完治する確率は開腹手術よりやや劣りますが、効果を高めるための再手術も容易です。本院では昨年6月以降に内視鏡手術を実施していますが、良好な治療成績をおさめています。

投薬と開腹手術に加え、第三の選択肢として、内視鏡手術への期待は高まっています。

膀胱尿管逆流症 についてのお問い合わせ

◎小児外科、小腸移植外科

TEL 092-642-5578

診療日：月・水・金

エッセイ Essay



子どもと障害児(者)のための歯医者さん

小児歯科長

の なか かず あき
野中 和明

Kazuaki Nonaka

世の中には歯医者さんが苦手という大人も多いはず。小さな子どもたちであればなおさらです。私たち小児歯科では、歯医者さんが苦手という子どもや、障害や病気のために近所の歯医者さんでは診てもらえない子どもから青少年までを対象に、お口の管理をしています。治療では保護者のご希望や、

本人の心や身体の負担に配慮して、全身麻酔法、静脈内鎮静法、笑気ガス鎮静法などを応用することもあります。

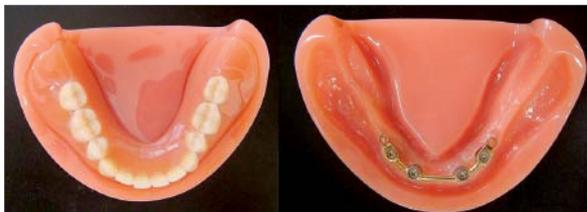
これらの方法は心には優しいのですが、とくに全身麻酔になると身体への負担がないわけではありません。そのためむし歯は予防するのが基本で、小児歯科ではできるだけ小さいころからお口の管理をさせてもらい、予防に力を入れています。とりわけ障害や重い病気を持った子どもは予防がなにより大切です。

私たちは小児医療センターの診療科のひとつとして、小児科、小児外科、小腸移植外科、子どものこころの診療部、歯科麻酔科などと連携し、「安全で親子に優しい歯医者さん」をモットーに口腔疾患の治療と予防に努めています。また小児歯科学会と障害者歯科学会から臨床研修施設として認定を受け、全身管理のできる小児歯科・障害者歯科医師の育成にも取り組んでいます。

診療科のご案内 ①

義歯補綴(ほてつ)科

「食」は人が生活する上でたいへん重要な要素ですが、かめない、義歯(入れ歯)が合わない、顎(あご)が痛いなどお困りのことはありませんか? 歯が欠けたり、失った状態を放置したりすると、かみ合わせの変化や咀嚼



インプラントオーバーデンチャー: インプラントを義歯の支えに使用します。

義歯補綴科: <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/dent/O5/index.html>

(食物をかみ砕く)機能の低下が認められることがあります。また、他の歯に負担がかかりやすくなり、他の歯を失うリスクも高くなります。

義歯補綴科ではクラウン(冠)、ブリッジ、義歯、インプラントなどの補綴装置を用いて、見た目や口腔(こうくう)機能の回復を行なっています。そのほかに顎関節症(顎の痛み、口が開きにくいなど)の治療や口腔腫瘍、口唇口蓋裂(こうしんこうがいれつ)の方に対する顎顔面補綴治療、スポーツ時の外傷予防、睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置による治療なども行なっています。生活の質(QOL)の向上のため、お困りの方はぜひ、当科へご相談ください。

診療科のご案内 ②

乳腺外科(1)

当科では乳腺の悪性腫瘍(乳がん)/良性腫瘍を中心とした疾患を扱っています。世界のデータとガイドラインに基づいて、病状に応じた適切な治療法を提案しています。手術療法、ホルモン療法、化学療法、放射線療法、免疫療法などの治療法を組み合わせたチーム医療と医療連携で、患者さんひとり一人の希望を尊重したがん治療を目指します。

手術は乳房温存手術(乳房を残す手術法)、乳房切除術、乳房同時再建手術(乳房温存手術が不可能な場合に、乳房を全摘した後に乳房の形を作る手術)、センチネルリンパ節生検、乳腺良性腫瘍に対する摘出術も行います。

乳腺外科(1): <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/geka/O1/4.html>



鏡視下乳がん手術

なかでも内視鏡下乳がん手術を積極的に取り入れており、小さくて目立たない手術の跡で、“身体にやさしい”手術を目指しています。

■連載 コメディカルを紹介します[6]

このコーナーでは本院の医療スタッフの役割を順次、紹介します

先進予防医療センター看護師

先進予防医療センターは、3大生活習慣病と言われる「がん」「心臓病」「脳血管障害」の早期発見・早期治療を目指すとともに、皆さんの健康の維持・増進のお手伝いのため、各種人間ドックを行っています。

センターの看護師は若葉色のユニフォームを着用し、被検者の問診、身体計測、採血、脈波伝播速度検査(血管壁の硬さを調べる)、心電図検査、鼻から入れる内視鏡検査の介助、PET-CT用検査薬の注射のほか、結果報告書の作成や健康相談などを行っています。

各種ドックは、組み合わせることもできます。詳細はご遠慮なく先進予防医療センターへお問い合わせください。TEL: 092-642-5746



心臓ドック

先進予防医療センター 伊藤 浩司

先進予防医療センターでは、狭心症・心筋梗塞といった冠動脈疾患、その他弁膜症などの早期発見のために、心臓ドックを行っています。

動脈硬化による冠動脈疾患は、高血圧・糖尿病などの増加に伴って、近年患者数増加が顕著です。また最近の生活様式の変化により、高齢者のみならず、働き盛りの年齢層の方が狭心症・心筋梗塞になることもまれではありません。

当センターの心臓ドックでは、心電図、レントゲン検査に加えて、心エコー検査を行うことで心機能低下や弁膜症などの異常、心臓MRI検査を行うことで、狭心症が疑われるような異常(冠動脈の狭さく)の早期発見に努めています。

心エコー検査結果は超音波専門医によるチェックを受け、総合的な判断は循環器専門医によって行われ、大学病院という高い専門性を活かした評価が行われます。また、万が一病気が見つかった場合も大学病院の特色を活かし、各専門診療科によるサポートが可能です。

動悸や胸に痛みがある方はもちろん、症状がない方でも、また年齢にかかわらずに、高血圧・糖尿病などをおもちの方は、ぜひ検査を受けていただきたいと思えます。



九州大学病院別府病院のご紹介

検査室



当検査室では、“精密で正確、迅速な検査を通して患者さんケアの向上に貢献する”という理念の基に、牧野直樹検査室長(内科長兼任)、東保太郎助教(病理医)、臨床検査技師7名の体制で、患者さんにとってより良い治療が行えるように、日々さまざまな臨床検査を行っています。

血液や尿など別府病院内で行う検査は、すべて迅速結果報告を実施しており、外来における診療前検査に尽力しています。心電図検査などの生理検査以外は、患者さんと接する機会の少ない職種ではありますが、平成23年12月からは採血業務を開始しましたので、今後は皆さま方と接する機会が多くなります。

検査に関するご不明な点などございましたら、お気軽に声をかけてください。

院内認定看護師をご存じでしょうか

九州大学病院では、近年の高度な医療に対応し、また質の高い看護ケアを提供するため、特定の看護分野において、平成17年より院内認定看護師を育成しています。

褥瘡(じょくそう)ケア、ストーマケア、感染管理、呼吸ケア、救急看護、糖尿病ケア領域で、日本看護協会の認定審査に合格した専門・認定看護師が中心となり1年間を通して教育・実習を実施し、本院看護部の審査に合格した看護師を院内認定看護師として定めています。この他にCPRインストラクターの育成も行っており、この6年間での育成数はおよそ100人となり、本院看護師の約1割近くが認定を受けました。



これからも院内認定看護師は高度な看護技術と専門知識を用いて看護を実践し、患者さんにより満足度の高い、熟練した看護ケアを提供するとともに、他の看護職員に対して指導的な役割を担っていきます。24年度は感染管理、呼吸ケア、救急看護、糖尿病ケアの4つの領域と新たにがん看護の領域で育成を行う予定です。

外来診療日一覧

■休診日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29-1/3)
■初診受付時間 8:30-11:00(窓口)
■再診受付時間 8:15-17:00(自動再来受付機)、8:20-17:00(窓口)
■外来玄関開閉時間 7:30-18:00

■外来診療棟

階/受付	診療科名	初診日	再診日
4階/西	心療内科 TEL 642-5335	月・木	火・水・金
	呼吸器科 TEL 642-5388	月・水・金 ※要紹介状	月・火・水・金
	外科 ●消化管外科(1) ●胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科 ●呼吸器外科(1) ●乳腺外科(1) ●内分泌外科 TEL 642-5453	火・木	火・木
	外科 ●消化管外科(2) ●肝臓・膵臓・門脈・肝臓移植外科 ●呼吸器外科(2) ●乳腺外科(2) ●血管外科 TEL 642-5479	月・水・金	月・水・金
	先端医工学診療部 TEL 642-5993	月・水・金	月・水・金
4階/東	産科婦人科 TEL 642-5409	月・金 ※要紹介状	月・金
	ペインクリニック(麻酔科蘇生科) TEL 642-5719	月・火・水・金	月・金
4階/東第2	再生歯科・インプラントセンター TEL 642-6361	月・金	月・金
3階/西	内科 ●血液・腫瘍内科 ●免疫・膠原病・感染症内科 ●消化管内科 ●腎・高血圧・脳血管内科 ●内分泌代謝・糖尿病内科 ●肝臓・膵臓・胆道内科 TEL 642-5302	月・金 ※専門の疾患によって曜日が異なります。お問い合わせの上お越しください。 ※要紹介状	月・金
	先端分子・細胞治療科 TEL 642-5302	月・金	月・金
3階/東	ハートセンター外来 ①循環器内科②血液・腫瘍内科 TEL 642-5371 ③心臓血管外科 TEL 642-5565	①月・木 ②火・水・金 ③月・水・木 ※要紹介状	①月・水 ②火・金 ③火・木
	皮膚科 TEL 642-5597	月・水・金 ※要紹介状	火・木
	耳鼻咽喉・頭頸部外科 TEL 642-5681	火・木	月・水・金

■北棟

階/受付	診療科名	初診日	再診日
5階/西	小児科 TEL 642-5430	月・金 ※専門医が診察できない場合があります。	月・金
	小児外科、小腸移植外科 TEL 642-5578	月・水・金	月・水・金
	臨床遺伝医療部 TEL 642-5421	月・金	金
	小児歯科 TEL 642-6465	月・金	月・金
	矯正歯科 TEL 642-6460	月・金	月・金
5階/東	全身管理歯科 TEL 642-6483	月・金	月・金
	顎口腔外科 TEL 642-6445	月・金	月・金
	顔面口腔外科 TEL 642-6450	月・金	月・金
	歯科麻酔科 TEL 642-6479	月・金	月・金
	歯周病科 TEL 642-6425	月・金	月・金
4階/西	歯内治療科 TEL 642-6430	月・金	月・金
	咬合補綴科 TEL 642-6435	月・金	月・金
	義歯補綴科 TEL 642-6440	月・金	月・金
4階/東	歯科総合予診 TEL 642-6500	月・金	月・金
	口腔画像診断科 TEL 642-6471	月・金	月・金
	口腔総合診療科 TEL 642-6490	月・金	月・金

平成24年3月現在

棟	階	診療施設等	電話番号	
外来診療棟	4階	ストーマ看護外来(月・金)	641-1151	
		助産師外来(月・金)	642-5900	
	3階	糖尿病フットケア外来(水・金)	642-5302	
		リンパ浮腫外来(火)	642-5409(産) 642-5612(南6)	
	2階	外来化学療法室	642-5125	
		がん相談支援室・緩和ケア	642-5200	
	南棟	1階	総合案内	642-6270
			外来受付	642-5138
			入院受付	642-5150
			公費相談窓口	642-5153
支払窓口			642-5169	
患者さん相談窓口			642-5132	
医療連携センター			642-5165	
社会福祉相談窓口			642-5167	
在宅療養支援室			642-5185	
高度先端医療センター			642-5858	
睡眠時無呼吸センター(火・水・木・金)	642-5988			
2階	栄養相談室	642-5180		
	時間外受付	642-5163		
1階	リハビリテーション受付	642-5862		

■人間ドック(先進予防医療センター)
 TEL 642-5746(月・金、8:30-17:00、要予約)

※赤色の曜日は予約が必要です。
 ※電話予約受付時間14:00-16:00 予約に関するお問い合わせは、各診療科外来へ直接お電話ください(市外局番は「092」です)。
 ※再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となり、紹介状をお持ちでない方は治療費とは別に保険外併用療養費として3,150円が必要となることがあります。あらかじめ各診療科外来にお確かめ願います。

病院にお越しの際は保険証をお忘れなく!

※保険証の表示がない場合には、保険での取扱いができません。

外来患者さんへ

- 本院のお薬は原則として「院外処方」としてあります。「院外処方せん発行」にご協力ください。
- 外来患者さん用の駐車場を準備していますが、駐車台数が限られていますので、できるだけ公共交通機関をご利用いただきますようご協力願います。

■病院の理念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

■基本方針【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】

- ①地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
- ②プライマリ・ケア診療の充実
- ③全人的医療が可能な医療人の養成
- ④専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
- ⑤国際化の推進